

# 平成31年度 町長施政方針

平成31年町議会定例会3月会議が、2月21日から3月19日までの27日間にわたり開催され、初日に高橋昌造町長が町政運営の所信を述べました。

ここでは、町長の平成31年度施政方針（要旨）と予算の概要についてお知らせします。

## 次代を担う若者や子どもたちに 希望に満ちた矢巾町を引継ぐ

今年5月には皇位継承が行われ、平成の時代が幕を降ろし、その先の時代に向かう一歩となる年となります。

次代を担う若者や子どもたちに希望に満ちた矢巾町を引継ぐためその先頭に立って町政を進めてまいり所存であり、第7次矢巾町総合計画の基本理念であります『希望と誇りと活力にあふれ躍動するまちやば』の実現を目指し、また、前期基本計画のまとめの年として、議員各位、そして町民の皆さまとともに、今後とも諸施策に精力的に取り組んでまいります。

それでは、新年度の主な施策の方針について述べさせていただきます。

矢巾町が先駆けて取り組んでいる将来世代の立場になって政策を考えるフューチャーデザインは、持続可能な町づくりとして主要な新聞各紙の論説で取り上げられるなど高い評価を得ているところであり、国などでもその活用に向けた取り組みが広がりを見せております。

平成31年度は、この手法を活用した自治体の最上位計画の策定として、全国初となる第7次矢巾町総合計画後期計画の策定を住民参加のもと進めるとともに、新たに未来戦略室を設置し、持続可能で未来に強い町づくりを実現する施策を展開してまいります。

また、これまで矢巾町新エネルギービジョンの基本方針に基づき地球温暖化問題やエネルギー問題の解決に取り組んでいるところであり、環境省の公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業の採択を受け整備してまいりました低炭素区画内でエネルギーゲームマネジメントシステムおよび地域内電力活用の本格運用を開始いたします。さらに整備した低炭素区画内で蓄えられる電力を電気自動車を移動可能な蓄電池とし、普段は環境に優しく非常時は動く電源として活用するべく防災の視点からも検討を進め、環境先進地としての取り組みをさらに進めてまいります。

今後大きな社会問題となることが懸念されている少子高齢化に加え、団塊世代が後期高齢者となる「2025年問題」にいち早く対応し、人生100年時代の長寿社会を全ての町民が元気で活躍できるように、健康に暮らせる地域づくりを進めるとともに、子どもや障がい者、高齢者が身近な地域の中で交流し、地域で楽しくそして安心して過ごせる環境を整えるため、地区公民館などを拠点とした多世代型地域包括支援体制として「エン（縁）ジョイやばネットワーク」の構築を新たに図ってまいります。

ウェルネスタウンプロジェクトとして、健康寿命の延伸、医療費・介護給付費の削減を目的に展開している健康チャレンジ事業は、産官学金の連携を強化しさらに拡大させ、みんなが健康で元気に生活する町づくりを進めてまいります。

平成31年度当初予算の概要について、第7次矢巾町総合計画の施策の大綱であります、まちの将来像の実現に向けた7つの

まちづくりの方針に沿って、主要な事業に関し具体的な取り組みや直面する課題を、ご説明申し上げます（左ページ参照）。

結びに、本町では多世代にわたって地域課題を共有し、幅広い分野にわたり政策提言や解決に向けた取り組みを協働で行う矢巾町の応援団「まちづくりサポーター」を養成するとともに、毎月「町民懇談会」を開催し、町民が主役である町民参加型の町づくりをさらに進め、活力に満ちた町政を推進してまいり所存であります。

町民の皆さまのなお一層のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



# 平成31年度 施政方針の主な施策

## ① 健やかな生活を守るまちづくり

■ **高齢者の生活支援・介護予防**…高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができる「地域包括ケアシステム」の実現に向け、保健福祉施策に係る町民サポーター養成に取り組みます。

■ **子育て支援の拡充**…新たに産婦一般健康診査を実施するほか、医療費助成給付の対象を高校生まで拡充します。

■ **健康づくり**…町民の健康意識の向上と生活習慣の改善を促し、生活習慣病の発症・重症化の予防をして、健康寿命の延伸を目指します。

■ **地域福祉の充実**…「相談支援包括化推進員」を配置し、困難で複合的な課題の解決に向けた相談支援体制の充実を図り、地域の困りごとは地域で解決できるような共生社会の実現を目指します。また、災害時避難行動要支援者名簿の登録拡大に取り組み、災害被害の拡大防止に努めます。

■ **障がい福祉の充実**…「紫波地区障がい者基幹相談支援センター」を中心に、障がい者や障がい児の方が相談しやすい体制を強化します。

## ② 時代を拓き次代につながるひとづくり

■ **児童福祉の充実**…保育ニーズに対応するため、認定こども園の移行や小規模保育事業所の設置を進め、保育環境の整備に取り組みます。

■ **病児保育環境の拡充**…紫波町と連携している病児保育事業を盛岡市とも連携して、受入環境の充実に努めます。

## ③ 利便性と発展性を高めるまちづくり

■ **市街地整備**…矢幅駅前地区の換地処分に向けて事務を進めます。また、継続して「やはぱーく」で各種イベントを開催し、中心市街地の活性化とにぎわいの創出に努めます。

■ **踏切拡幅の整備**…町内3カ所の踏切拡幅を関係機関と協議し、本年度は上杉踏切の拡幅工事に着手します。白沢踏切、南矢幅踏切も早期着手に向けて取り組みます。

## ④ 快適性と安全性を高めるまちづくり

■ **防災体制の強化・充実**…防災体制の強化・充実のため、町消防団と機能別消防団の団員確保やポンプ車の更新を行うほか、非常用食料品や衛生用品を備蓄します。また、防災ラジオを核とした非常時通信手段の整備や防災の講習会・訓練を行い、町民の防災体制の強化と意識高揚を図ります。

■ **防災組織の育成**…産学官と連携して防災力の向上のため、防災士養成講座の開催や、岩手大学と連携して自主防災組織の育成に取り組みます。

■ **防犯・交通安全の推進**…医大附属病院開院による新たな犯罪発生が見込まれるため、警察署などと連携したパトロール体制を構築します。また、町内の全小学生に「反射材付タスキ」を配布し、登下校時などでの交通事故の防止に努めます。

■ **空き家対策**…危険なまま放置された空き家の迅速な撤去や周辺への被害防止を実施する仕組みを検討するとともに、利用可能な空き家についてはその活用を視野に入れた取り組みを行います。

■ **下水道**…農業集落排水事業区域である「次次地区」を公共下水道事業区域へ集約化する工事に着手します。

## ⑤ 産業の活力を高めるまちづくり

■ **農業の振興**…「中山間地域等直接支払交付金」や「多面的機能支払交付金」などを活用し、耕作放棄地の発生防止に努めます。また、「農業次世代人材投資資金」をはじめとする各種制度を活用し、農業従事者の確保・育成を支援します。さらに、農業経営の法人化を推進するとともに、経営の質の向上を支援します。

■ **6次産業化の推進**…農業者の意識やレベルに応じた支援を行うとともに、販売会や商談会などの実践的な取り組みを強化します。

■ **鳥獣被害の対策**…近年増加している鳥獣被害に対応するための人材確保や技能向上を目的に、矢巾総合射撃場を整備します。

■ **雇用対策**…Uターン就職できるように小中学生に向けて職業について知る機会を提供する。また、実践型インターンシップの受け入れ体制を整備し、大学生の町内就職に努めます。

■ **観光の推進**…史跡徳丹城跡から南昌山までにある地域資源を掘り起こし、「煙山ひまわりパーク」とあわせながら観光客の誘致につなげます。

## ⑥ 豊かな生活環境を守るまちづくり

■ **循環型社会の形成**…省資源、省エネルギー、3R運動などの啓発に取り組み、地域特性にあわせた循環型社会の形成を推進します。

■ **環境美化の推進**…地域住民や他団体と連携して緑化推進を図る。また、清掃活動や不法投棄のパトロールを実施し、ごみのない住みよい環境づくりに努めます。

## ⑦ 安心と信頼が寄せられる行政経営

■ **町の魅力を発信**…町内外の多くの方に矢巾町を知ってもらうため、ふるさと納税などを活用して「矢巾ファン」の獲得につなげ、町の魅力発信に努めます。

■ **適正な行財政運営の推進**…政策の有効性と透明性を向上させるための「事務事業評価」を実施します。また、高度化する政策課題に対応するため、人材育成に取り組み職員の資質向上に努めます。